

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1 県民の総力を結集できる行政の推進
---------	----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	広聴広報課長 安部山 亨	電話番号	0852-22-5769
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	県政情報提供事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	テレビ・ラジオ・広報誌・ホームページなどを媒体として県政情報をリアルタイムにわかりやすく伝えることにより、県民の県政への関心を向上させる	
事業概要	県政の主要施策や県内の状況などを伝えるために、広報誌「フォトしまね」の発行、新聞広報「考える県政」・「県民だより」の掲出、テレビ広報「もっと×もっとしまね」・「情報ステーション」・「テレビスポット」・「特別番組」の放送、またインターネットを通じた広報を行う。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		58.00	59.00	59.00	
式・定義	県政世論調査における県の広報に対する満足度の割合	実績値	56.80	49.60	55.20	52.40		%
		達成率		85.50	93.60	88.90		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	230,133	223,856
うち一般財源(千円)	227,973	221,696

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

H26は松江圏、浜田圏がそれぞれ1.9%満足度が改善したが、雲南（-4.5）、出雲（-6.4）、大田（-4.8）、益田（-10.4）圏域がのきなみ下落し、全体としては、-2.8%満足度が低下した。年齢階層別では、20代が-5.8、60代が-3.1、70代が-10.8と若年層と、高齢層が大きく落ち込んだ。例年、地域性のあるイベント等の情報発信により、地域別偏りが全体に影響する傾向があったが、今回は、年代別傾向が大きくなった。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

30代から50代の生産年齢の主力層の満足度は、安定している。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

若年層への浸透力の弱さと高齢層の満足度の低下傾向。

### ②困っている状況が発生している「原因」

若年層への浸透のため使用媒体の変更を少しずつ進めているが、その変更が緩慢なため十分な浸透が行えていない。  
高齢層の満足度の低下傾向は、原因が今ひとつ明確ではなく、今後分析が必要。

### ③原因を解消するための「課題」

若年層への浸透を図るため使用媒体の再検討。  
高齢者層の不満原因の調査の実施

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

年代別の県政情報への期待及び使用媒体の調査分析

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）